

平成30年第1回定例会

建設水道常任委員会
会 議 録

期日：平成30年2月23日（金）

場所：大曲庁舎 第3委員会室

平成30年第1回大仙市議会定例会 建設水道常任委員会 会議録

日 時：平成30年2月23日（金曜日） 午前11時03分～午前11時26分

会 場：大曲庁舎 第3委員会室

出席委員（7人）

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 委員長 | 7番 | 石 塚 | 柏 | 副委員長 | 3番 | 三 浦 | 常 男 |
| 委 員 | 14番 | 後 藤 | 健 | 委 員 | 15番 | 佐 藤 | 育 男 |
| 委 員 | 16番 | 古 谷 | 武 美 | 委 員 | 18番 | 佐 藤 | 芳 雄 |
| 委 員 | 20番 | 橋 本 | 五 郎 | | | | |

欠席委員（0人）

遅刻委員（0人）

早退委員（0人）

説明のため出席した者

| | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 建設部長 | 古 屋 利 彦 | 道路河川課長 | 今 和 則 |
| 道路河川課参事 | 土 井 保 男 | | |
| 神岡支所農林建設課長 | 岩 根 浩 幸 | 西仙北支所農林建設課長 | 田 村 一 彦 |
| 中仙支所農林建設課長 | 斎 藤 秋 彦 | 協和支所農林建設課長 | 稲 葉 久 則 |
| 南外支所農林建設課長 | 渡 部 幸 誠 | 仙北支所農林建設課長 | 進 藤 一 好 |
| 太田支所農林建設課長 | 野 中 正 幸 | | |

議会事務局職員出席

主 幹 富 樫 康 隆

審査議案等

第1 議案第9号 平成29年度大仙市一般会計補正予算（第13号）

○委員長（石塚 柏） それでは、本日は本会議休会中のところをご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

ただ今より、建設水道常任委員会を開会いたします。

それでは、当委員会に付託された事件について、別紙日程表のとおり審査をいたしますので、よろしくお願いたします。

なお、正確な会議録の作成のため、発言をする際は、委員長の許可を得た後で、マイクのスイッチを入れてからお願いをいたします。

○委員長（石塚 柏） 審査に入る前に、当局からあいさつがありましたら、お願いをいたします。古屋建設部長。はい、部長。

○建設部長（古屋利彦） 改めまして、おはようございます。

建設水道常任委員の皆さまには、本会議休憩中のところ、常任委員会を開催していただきましてありがとうございます。

さて、今年に入り、1月24日からの断続的な降雪によりまして、豪雪の年となっております。積雪などの記録でございますが、2月21日現在で、積雪深は大曲地域が178cmで最も多く、次いで南外・仙北・太田地域が150cmを超えております。8地域の平均は146cmとなっております。

また、累加降雪量は8地域の平均値で、平年の561cmを約2m多い764cmを記録しております。この量は同時期といたしまして、平成24年度の豪雪を超える記録となっております。

今後の天候の回復を期待しておりますが、各地域とも道路状態が悪く、除排雪の実施回数も多くなっており、除雪対策費につきましては2月13日時点で、既に当初予算額を消費している状況でございます。従いまして、今後迅速な対策を行えるよう除雪対策費の補正をお願いするものでございます。

以上、詳しい内容につきましては、担当課長よりご説明申し上げます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。以上です。

○委員長（石塚 柏） はい、ありがとうございます。

○委員長（石塚 柏） それでは早速、審査に入ります。

議案第9号、平成29年度大仙市一般会計補正予算（第13号）を議題といたします。

当局の説明を求めますが、なお説明は例年のことでもございますので、簡潔にお願いをいたします。今道路河川課長。はい、課長。

○道路河川課長（今 和則） それでは議案第9号、平成29年度大仙市一般会計補正予算（第13号）のうち、道路河川課所管分について資料No.2、平成29年度補正予算書、資料No.2-1、事業説明書並びに資料の道路-1により、ご説明申し上げます。

補正予算書の7ページと、事業説明書は1ページを併せてお開き願います。

8款2項2目12事業、除雪対策費は2億5千万円の補正をお願いするものであり、補正後の額を14億5,043万4千円とするものであります。1月24日からの寒波に伴う大雪によりまして、除雪経費及び排雪経費に不足が見込まれることから、今回の補正をお願いするものです。

補正の額は、今後の除雪と排雪作業の回数を見込み、委託料として1億7,820万6千円、使用料として7,179万4千円、合わせて2億5千万円を計上しております。内訳は、除雪経費として委託料に1億4,122万2千円、排雪経費として委託料に3,698万4千円、使用料に7,179万4千円を計上しております。

お手元にお配りしております資料、道路-1の1ページをお開き願います。

今年度の降雪量、積雪深、除雪出動回数及び排雪日数の状況を記載しております。2月13日時点の最大積雪深は、平均で131cm、累加降雪量は649cmとなっており、前年度の同時期と比較しますと、いずれも約1.5倍に増加しております。この降雪量の増加に伴いまして、早朝の一斉除雪回数は前年より8回多い27回、日中除雪などの一部出動は前年より10回多い37回実施しております。いずれも前年比の約1.4倍となっております。さらに排雪につきましては、例年より早い時期から大規模な排雪作業を実施しておりまして、前年より7日多く1.6倍に増加している状況となっております。

資料の2ページをお願いいたします。

除雪対策費の予算執行状況と補正額等について記載しております。

2月13日現在の予算の執行状況でございますが、2月1日以降の除雪経費と今後の委託料の固定費、及び排雪経費の未執行分等の執行予定額を考慮しますと、予算の不足が見込まれている状況にあります。このため、除雪経費のうち、今後の一斉出動における稼働費の不足分及び排雪経費のうち、大型ダンプ等の借上経費の不

足分を過去の実績に基づいて見込み、不足となる経費を補正額として追加をお願いするものです。

補正額は、委託料が1億7,820万6千円、使用料が7,179万4千円であり、補正後の全体額は14億5,043万4千円であります。

なお、今回の補正予算につきましては、道路河川課に全地域分を一括計上して、適宜、柔軟な地域配分を行い対応していくものとしております。

以上、議案第9号、平成29年度大仙市一般会計補正予算（第13号）のうち、道路河川課所管分についてご説明申し上げました。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○委員長（石塚 柏） はい、当局の説明が終了しました。

これより質疑に入ります。質疑のある方はお願いをいたします。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤芳雄） 質疑と言うよりも、市民の方はあんまり・・・、除雪対策本部できたって言うっけども、大曲なんぼ降ったとか、南外なんぼ降ったかっていう、そういうの知りたいって人がいっぱいいるすおな。そのとき、できればその広報さ、この地域は・・・。場所まで書かねえ、各地域で場所、測ってる所と違ふすべ。大曲でもどこでもな、南外でも。それだけでも書いて、載せてくれっていう要望がたくさんありましたので、できれば載せてもらいたいなす。まあ、そういうことです。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） はい。各地域の支所に観測地点を設けておりまして、毎日観測しております。

それで、ホームページにおいては、除雪管理システムで毎日の降雪状況、除雪状況が確認できるようにしております。

委員の仰られますとおり、広報につきましても掲載するようにしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（石塚 柏） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤芳雄） はい、了解。

○委員長（石塚 柏） はい、ほかに。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤育男） 先ほど、排雪回数も多いというようなことで説明ありましたけども、資料の2ページ見ますと、大曲地域、ほかの地域はほぼまず予算どおりというか、なっていますが、大曲の補正、まあほとんど、ほとんどが完璧に大曲なんですけど、これはやっぱり排雪とかその回数の、まあ排雪が結構よげなことなんです

べども、そんたのが要因なんでしょうか。最初一つ、それまず。ほかは計画どおり
いってるんですけど、大曲のその…。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） 大曲に限らず、各地域ともに朝の、早朝の一斉除雪の
回数も増えておりますし、排雪の回数も、特に大曲ですけれども、平年1回のもの
が約2回程度、排雪回数が増えているという状況でございます。

○委員（佐藤育男） ほかの地区は回数は多くなってるども、当初の予算内で収まっ
てるということですか。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） はい。各地域においても、やはり早朝の一斉除雪の回
数、例年より増えてますので、各地域においても不足が生じております。

○委員（佐藤育男） この資料2ページの補正前・補正後ってありますよね。黄色い
部分。これ見ますと、大曲以外はほぼ、ほぼでねえ、同じだすね。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） はい。ちょっとこの、補正後の額ですけれども、地域、
まあ補正前と変わっていないかたちになってますが、先ほど説明しましたけれども、
道路河川課に2億5千万計上しまして、不足分を適時各地域に配分して、柔軟に使
いたいということで、この表はこのようになってございます。

○委員（佐藤育男） 資料では大曲さ載ってるすども、これ所管はまず本庁でやって、
あと各地区の不足さ充当していくということですか。

○道路河川課長（今 和則） 柔軟にこう対応していきたいと考えております。

○委員（佐藤育男） わかりました。ちょっとこれ見れば、なんも、大曲ばし増えて
るっけから。わかりました。

すいません、もう一つ、もう一つ、もう二つあるんです。

G P S化になって効率、どこにいたか分かるように効率よく排雪するというよう
なことで、G P S化したようですけど、その効果というのはちょっと、どう感じて
いらっしゃるかお聞きしたいんですが。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） それまでは除雪の機械の動きについては、それぞれ聞
き取りして、紙ベースでこう計画なり実績を提出していただいて、その都度確認し
ておりましたけれども、このG P Sのシステムによりまして、自動的にシステムに
おいて機械の動き、あるいは計画もですけれども、お互いに素早くスピーディーに

確認されるような状況となりまして、その点については効率的になってるというように考えております。

○委員（佐藤育男） 成果はあると。

○道路河川課長（今 和則） 成果はあると考えてます。

○委員（佐藤育男） すいません、もう一つ、いいですか。

○委員長（石塚 柏） はい、佐藤委員、どうぞ

○委員（佐藤育男） 大曲地域がちょっと多く、私もちょっと連絡もらってますが、排雪、排雪というか、運搬して投げる場所があんまりちょっと、少ないのかどうかちょっと分からないんですが、運搬していけば2時間か3時間戻ってこないという、投げる場所に残っているというようなことで、例えば民間の業者さんたちが、こっちから頼まれて運んでいくらしいですけども、それがなかなかそのダンプが戻ってこなくて、1日2軒やりたいとこ1軒しかできねえがらというような、ちょっとそんな話もちよっと来てますけども、その大曲地域のいわゆる投げる場所の状況というのはどうなってるか、ちょっと教えていただけますか。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） 大曲地域の排雪場所については、現在3カ所開設しております。当初、玉川橋も含めて開設してますけれども、玉川橋につきましてはもう100%近くなったということで、代わりまして花火大橋の上流の右岸を開設して、今3カ所を開設して設置しているところでございます。

○委員（佐藤育男） やっぱりその、やっぱり経費削減もあれだすども、やっぱりダンプの行って来ての時間というのは、早ければ早いほど効率が上がることだと思いますので、排雪の場所についてもいろいろこう配慮して。これは要望です。配慮してもらいたいと思いますので、なんとか。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） 排雪場所につきましては、やはり河川敷の占用ということで手続きやってまして、国交省より借り受けしてやっている関係で、場所については限定されるという状況ですので、その中でどうにかやりくりして設置していきたいと思いますので、どうかご理解お願いしたいと思います。

○委員長（石塚 柏） はい、ほかに質疑はございませんか。はい、佐藤委員。

○委員（佐藤芳雄） 直接南外の除雪さ聞けばよかったけど、ちょっと思い出したから。車両火災した、火災したあれ、また修理して使ったのか、それとも廃車したのか、どうですか。処分した。

- 委員長（石塚 柏） はい、今課長。
- 道路河川課長（今 和則） 今、原因を調査しておりまして、今後使えるかどうかは、その調査次第でととなっている状況でございます。
- 委員長（石塚 柏） 後ほど報告をお願いします。
- はい、ほかにございませんか。はい、橋本委員。
- 委員（橋本五郎） はい。大雪の割に、我々協和ですけれども、非常にこう除雪体制はよくいってるなど。我々、2・3年前まではよく議員方に「除雪悪い」「ここ、こうしてけれ」とかなんとかって、いろいろな苦情がくるのが当たり前だったんですけれども、今ほとんどそういうのが無い。また、こう廻ってみても、非常にこう除排雪が上手くいっているということで、全体的にこの大仙市の方の・・・、あなた方に、あれだけ、大きな苦情とか、その除雪体制が悪いとか、とかってそういうお話は聞こえるもんだすか。
- 委員長（石塚 柏） はい、今課長。
- 道路河川課長（今 和則） はい。まあ様々な苦情は。雪がやっぱり降りますと、やっぱり苦情は、電話結構来ております。
- 委員（橋本五郎） やっぱりあれだすべ、この大曲町部の人方だすべ。んでねえすか。
- 委員長（石塚 柏） はい、今課長。
- 道路河川課長（今 和則） はい。それぞれ地域ごとに、担当の方には来ておる状況ですね。ただ、協和地域につきましては、やはりきめ細やかな除雪、まあ全市ですけれども心がけているところでありまして、比較的協和地域、まあ場所によって異なりますけれども、雪の量が、降雪量があんまり、少ないところもあるという状況、まあ多いところもあるわけなんですけれども、比較的少ないかなというかたちでは感じております。協和地域につきましてはですね。
- 委員（橋本五郎） それからもう1点は、そのオペレーターの技術的な問題での除排雪の苦情なのか。それから、機材が古くなって十二分にそれに、除雪体制に対応できないというような点はあるのか、そのあたり。
- 委員長（石塚 柏） はい、今課長。
- 道路河川課長（今 和則） オペレーター、例えばベテランのオペレーターの除雪路線について新しい、新人のオペレーターになった場合はやはり、前の人とは違うということで、そういうような苦情の中にはありますけれども・・・、あります。
- 委員（橋本五郎） 機材の方は。

○道路河川課長（今 和則） あと機材につきましては、特に住民の方からは苦情はないと考えております。

苦情の一番多いのが、まず間口の置雪とか、あるいは朝方の雪降った時に「除雪来るのが遅い」とか、そういうふうな苦情ですね。あと最近では、路肩に滞雪が多くなってきましたので「早く排雪してほしい」と、そういうような拡幅の要望等が最近多くなっております。

○委員（橋本五郎） 今日、大曲で今、市街こう来たら、こう排雪が良くなってるからな。ああ、頑張ってるんだなというような、大雪の割にはまあまあでねがな。対応がな。我々関係者としてよ、んだから、喜んでるんだと。うん、まあ頑張って下さい。

○道路河川課長（今 和則） はい、頑張ります。

○委員長（石塚 柏） はい、ほかに。はい、古谷委員。

○委員（古谷武美） たまたま昨日なんですけども、飯田の所で排雪していたんですね、タカヤナギの前で。んで、結構、交互でやって、途中でまた信号あったりするもんだから、交互にこう並んだんですよ、交互に。あれ、ちょっと手前に、旧道に迂回すれば、なんら混まないで多分行くはずなんです。なので、そういう気配りしてもらって、「迂回路あります」とか「排雪中。迂回路」とかって書いてもらえれば、非常にもっとスムーズに行くかと思うんですけども、そこら辺なんとかお願いしたいなと思うんですけども。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） 迂回路を設けることを検討していきたいと思います。

○委員長（石塚 柏） ほかに何かございませんか。はい、三浦副委員長。

○副委員長（三浦常男） さっきも一応説明あったども、まだやはり相当、朝の除雪の下手な人いるすおな。それで暖気になってこいば^{わだち}轍^{わだち}なってしまっって、こう車が交差できないっていうか、両車線とも二つなばいいども、真ん中だけが1車線なって、両側さ、俗に車輪のところが三つしか轍^{わだち}ねえっていうか、あれが四つあればそのまま交差できるべども、三つしかねえとこ、ましてや道幅狭けくなるとこは内さ寄ってくるもんだから、それで「いやー、きれいにやってるな」というとこなば、轍^{わだち}やっぱり少ねべども、ちょっと除雪のやっぱり、デゴデゴじいとか、高い低いあつたりするども、全部ずばきり押されてねえとか、轍^{わだち}、特に町場はそうでもねえども、在の方さ入っていけば、市道なるとこ、うちの方もだども、田んぼあつて、田んぼさ押せるとかいいども、押せねえっていうか、家とかあつた場合、やはりただ、

そのまま上だけ押していただけなもんだから、轍できる。やはりその技術的な面と立地条件さ、やっぱり合ったような除雪体制作ること、なんとか除雪する前の時に指導するなり、そういうふうなこと今後ともやってもらえれば。特にこうやって雪よげなってこいば、やはりそれ言われるすおな。「なんて、あっこまで行けばいいども」と。必ず区間区間でその業者が違ったりしているときあるもんだから、「こっちなばいいども、こっちや来いば轍なつてらっけ」とかっていうこと、やはり言われることよげなもんだからすよ。特に町場はやはり道幅狭けくなつたというのは言われるども、村の方さ来いば、ずばきりやれねえ人出てこいば、そこ、この後もなんとか。一生懸命頑張つてはもらつてるとども、なんとかよろしくお願ひします。

○委員長（石塚 柏） はい、今課長。

○道路河川課長（今 和則） 轍等の整正作業につきましても、道路の路面の積雪の状況もありますので、それを考慮しながら進めていきますので、適切に今後対応していきたいと考えております。よろしくお願ひします。

○委員長（石塚 柏） はい、ありがとうございます。

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（石塚 柏） なければ、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はございませんか

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（石塚 柏） はい、討論なしと認めます。

これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（石塚 柏） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（石塚 柏） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は全て終了いたしました。

なお、当委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任願ひしたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（石塚 柏） 異議なしと認め、そのように決しました。

これで建設水道常任委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

午前 11 時 26 分 閉 会

大仙市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長